

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

| | | | |
|--------------|--|-------------|----|
| 大学名 | 人間環境大学 | 設置区分 | 私立 |
| 学校種 | 大学 | 都道府県 | 愛知 |
| 大学全体の総収容定員 | 1,760名 | ※令和5年5月1日時点 | |
| 学部学科 組織構成 | 心理学部（心理学科、犯罪心理学科） 環境科学部（フィールド生態学科、環境データサイエンス学科） 看護学部（看護学科） 松山看護学部（松山看護学科） 総合心理学部（総合心理学科） | | |
| 事業計画名 | 人間環境大学総合環境学部フィールド自然学科及び環境情報学科設置計画 | | |

2. 事業概要

| |
|--|
| <p>総合環境学部では、動物・植物・生態系機能などの自然環境、およびデジタル化が進む産業社会も含めた地球環境全体を「持続可能性」という観点から総合的に考え、その諸課題の解決策を積極的に提言できる人材を育成する。</p> <p>フィールド自然学科では、フィールドでの学びを通じて、多様な動物や自然と、人間との関わりに関する専門知識を有し、SDGsの達成に必須である自然共生社会の実現に向けて、広い視野と柔軟な思考力によって人間社会の発展と環境保全のバランスを考慮した発言と提案、そして行動ができる人材を育成する。</p> <p>環境情報学科では、SDGsを推進する立場から、情報通信技術に転換をもたらすことを学際的に追求し、GREENSOFT Modelに準拠したソフトウェア開発技術とデータサイエンス知識を駆使することにより、自然共生社会の実現とインターネットに結びついたデジタル産業社会の発展という二つの理念の総合に貢献できる人材を育成する。</p> |
|--|

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

| | | | | | |
|---------------|----------|---|---|---|---|
| 改組予定年度 | 令和7年度 | | | | |
| 認可申請・届出の別 | 認可申請及び届出 | | | | |
| 改組内容 | 学部の新設 | | | | |
| 設置等組織名 | 総合環境学部 | | | | |
| 設置等組織の学位分野 | 農学関係 | - | - | - | - |
| 当該学部等の所在地 | 愛媛県松山市 | | | | |
| 入学定員 | 新設予定 | | | | |
| 収容定員 | 新設予定 | | | | |
| 入学定員の増加数 | 100名 | | | | |
| 他学部等の入学定員の減少数 | 0名 | | | | |



| | | | | | |
|--------|-----------------------------------|--------|------------------------------|-------------|------|
| 事業計画名 | 人間環境大学総合環境学部フィールド自然学科及び環境情報学科設置計画 | | | | |
| 基本情報 | | | | | |
| 改組予定年度 | 令和7年度 | 設置等組織名 | 人間環境大学総合環境学部フィールド自然学科・環境情報学科 | 入学定員増数(合計数) | 100名 |
| 所在地 | 愛媛県松山市 | 改組内容 | 学部の新設 | 入学定員減数(合計数) | |

<社会や地域のニーズ・課題>

- 全国平均よりも速く進展する、愛媛県における人口減少
- 高齢化する**第1次産業の後継者問題**
- 「**環境にやさしい農業**」を担える人材の育成

<連携を通じた教育体制の整備>

- 「愛媛県情報系学部等設置大学連絡調整会議」による地域との連携
- 新田高等学校(愛媛県松山市)との連携協定

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>

- 総合環境学部
- ・動物・植物・生態系機能などの自然環境、およびデジタル化が進む産業社会も含めた地球環境全体を、「**持続可能性**」という観点から**総合的に考え、その諸課題の解決策を積極的に提言できる人材**の育成

<多様な入学者の確保>

- 受験生の個性や意欲に着目したAO入試の実施 等

<教育内容・育成する人材像>

○ 多様な動物や自然と、人間との関わりに関する専門知識を有し、SDGsの達成に必須である**自然共生社会の実現**に向けて、広い視野と柔軟な思考力によって人間社会の発展と環境保全のバランスを考慮した発言と提案、そして行動ができる人材の育成(フィールド自然学科)

OGREENSOFT Modelに準拠したソフトウェア開発技術とデータサイエンス知識を駆使することにより、**自然共生社会の実現とインターネットに結びついたデジタル産業社会の発展**という二つの理念の総合に貢献できる人材の育成(環境情報学科)

フィールド自然学科のカリキュラムマップ

